

高齢者の潜在的居住支援ニーズと住まいのマッチングのための「見える化」プロセス

I 高齢者世帯の概況把握

0・地域概要(人口、世帯数) 平成27年国勢調査

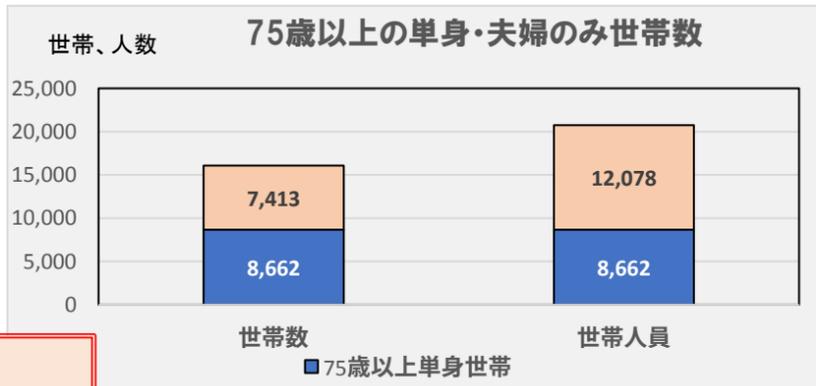
	総数	65歳以上	75歳以上
人口	350,237人	98,323人	49,656人
世帯数	140,328世帯	64,360世帯	35,453世帯

65歳以上世帯人員のいる世帯 75歳以上世帯人員のいる世帯

Focus① 高齢者単身・夫婦のみ世帯(平成27年国勢調査より)

	世帯数	世帯人員
65歳以上単身世帯	15,978	15,978
65歳以上夫婦のみ世帯	16,812	30,279
計	32,790	46,257
75歳以上単身世帯	8,662	8,662
75歳以上夫婦のみ世帯	7,413	12,078
計	16,075	20,740

※世帯数：65歳以上、75歳以上の世帯員がいる世帯
 ※世帯人員：65歳以上、75歳以上の世帯人員



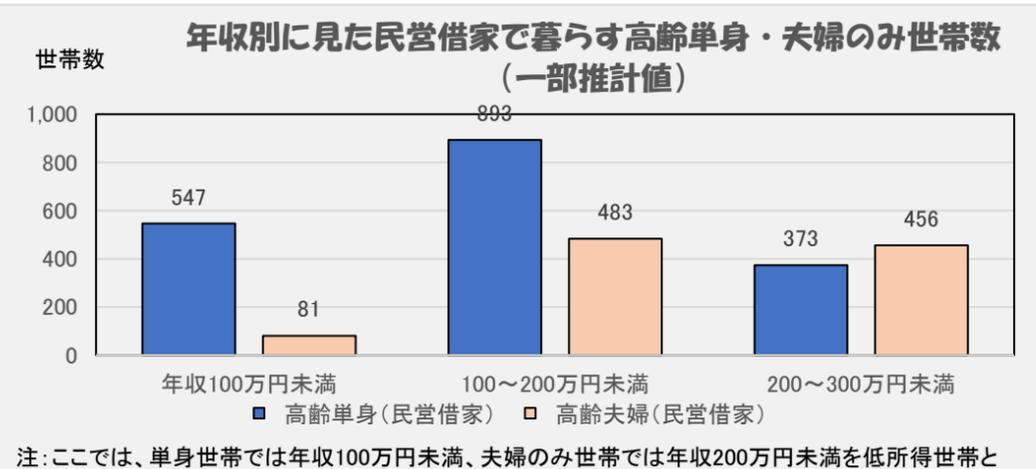
Focus① 75歳以上の単身・夫婦のみ世帯
 潜在層を含めた要見守り世帯と想定される。

II 潜在的な居住支援ニーズの把握

Focus②-1 潜在的な住宅確保要配慮の低所得高齢者世帯数(平成25年住宅・土地統計調査より、推計値)

	借家で暮らす高齢 単身世帯・夫婦の み世帯数	(内訳)			低所得世帯※	
		年収100万円未満 (=月収8万3千円未 満)	100~200万円未満 (=月収16万6千円未 満)	200~300万円未満 (=月収25万円未 満)	世帯数	割合
65歳以上単身世帯数						
高齢単身(持ち家)	7,910	1,584	2,457	1,703	1,584	20.0%
高齢単身(借家)	3,200	987	1,202	506	987	30.8%
高齢単身(公営・都市再生機 構(UR)・公社の借家)	990	424	342	118	424	42.9%
高齢単身(民間借家)	2,200	547	893	373	547	24.8%
高齢単身(給与住宅)	10	5	5	0	5	50.0%
65歳以上夫婦のみ世帯数(参考)						
高齢夫婦(持ち家)	12,170	539	2,097	4,155	2,635	21.7%
高齢夫婦(借家)	1,660	206	686	549	891	53.7%
高齢夫婦(公営の借家)	450	84	202	134	286	63.5%
高齢夫婦(都市再生機構 (UR)・公社の借家)	0	0	0	0	0	-
高齢夫婦(民間借家)	1,210	81	483	456	564	46.6%
高齢夫婦(給与住宅)	0	0	0	0	0	-

※ここでは「低所得世帯」を下記の定義で分類
 単身世帯：年収100万円(月収8万3千円)未満
 夫婦のみ世帯：年収200万円(月収16万6千円)未満



Focus②-1 潜在的な住宅確保要
 配慮者
 借家、特に民間借家で暮らす低所
 得の高齢世帯(特に単身世帯)は、潜

民間借家の低所得高齢者世帯数	
高齢単身世帯	547世帯
高齢夫婦のみ世帯	564世帯
計	1,110世帯

Focus②-2 老朽化した住宅で暮らす低所得高齢世帯数(推計値)

築50年以上経過した持ち家の割合	7.6%
------------------	------

※統計の区分上、昭和35年以前に建築された持ち家の割合を利用

Focus②-2 老朽化住宅に居住する低所得高齢世帯
 老朽化した持ち家で暮らす低所得高齢者世帯は、早期に転居・住まい確

潜在的な居住支援ニーズの合計			
	持ち家※1	民間借家※2	計
高齢単身世帯	120	547	667
高齢夫婦のみ世帯	200	564	764
計	320	1,110	1,430

※1 持家低所得×築50年以上の割合
 ※2 借家低所得世帯

この数値を参考に
 各市町村の実情を踏ま
 え

III 活用可能性のある賃貸住宅の把握

Focus③ 管内の「腐朽・破損なし」の賃貸用空き家戸数

腐朽・破損のない賃貸住宅戸数	3,530戸
----------------	--------

《比較》

Focus③ 管内の有効な住宅資源の確認